舞囃子 船 弁 慶任舞 頼 政 大原御幸

武田宗典野村万作

武田文志

武 田友志

観世清.

令和7年5月 18 13 時 時終了予定 開演 31 日 12時 開



~今回の演目について~

今回の花影会は、全演目「源平合戦」に関連した曲を上演致します。初番の能「屋島」は言わずと知れた春の名曲であり、歴 史上の人物として英雄的な位置づけでもある源義経が主人公となります。元来、観世御宗家の〈一子相伝〉である、大変重い〈弓 流〉の小書(特別演出)をお許し頂き、御宗家自ら地頭をお語い頂く形にての上演となります。また、同じく大変重い扱いの間狂言 「奈須與市語」は、若手のホープ・野村裕基氏にお願い致しました。「頼政」は源氏側の老将、大変扱いの重い仕舞となります。 狂言「清水座頭」は、源平絡みの大曲という事で、人間国宝・野村万作師自らお選び頂きました。舞囃子「船弁慶」は大人気曲、 平知盛が長刀を使う舞は、理屈抜きにお楽しみ頂ける事でしょう。留の能「大原御幸」は、中々上演されない大曲です。平清盛 の娘・安徳天皇の母でもある建礼門院徳子は、源平合戦で入水したものの、思いがけず源氏方の兵に命を助けられ、傷の癒え ぬまま出家します。そこに後白河法皇が訪れ、入水当時の有様を物語るという、静かながらも壮大なスケールの演目です。

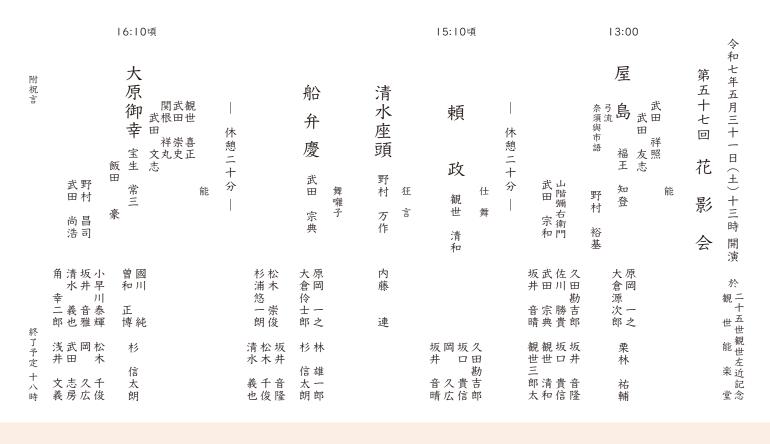
本会を通して、当時の人々の様々な立場や生き様に思ひを馳せ、共にひと時をお過ごし頂けますと幸いに存じます。皆様方の ご来場を心よりお待ち申し上げております。

於◎二十五世観世左近記念 観世能楽堂

〒104-0061 東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 地下3階



写真撮影 前島吉裕



~花影会について~

花影会は、昭和54年に故・武田太加志(たかし)が晩年の芸道の集大成として発足した公演です。故人は同会を通じて、能の芸術 性の高さと深さを追求する事を目指しました。平成11年より太加志の長男・志房(ゆきふさ)が、長男・友志(ともゆき)、次男(ふみ ゆき)と能を舞う会として復活させました。平成29年の弊財団設立と共に、より公益性のある会を目指し、重鎮・ベテランを中心に、 各地より様々なゲストをお招きして参りました。昨秋の第56回より、能のシテを友志・文志の息子世代に移行させ、今に至っております。 次世代を担う中堅・若手が躍動する今後の当会に、どうか引き続きお力添えを賜りたく、お願い申し上げます。



(事務所不定期営業の為、通常は留守電となります。ご連絡先をお残し頂けますと、当方よりご連絡申し上げます。)

お問い合わせ

